



## 相馬地方広域消防 南相馬消防署 飯館分署から

### ■秋の全国火災予防運動を実施しました

消防飯館分署では、11月9日から11月15日までの火災予防運動週間に合わせて、関係機関と合同で、火災予防の働きかけを行いました。期間中、飯館村消防団が各行政区に分かれて防火パレードを実施し、村民に「火の用心」を呼びかけた他(写真①)、11月12日には、いいたて希望の里学園にて避難訓練と起震車による地震体験を行いました。起震車の乗車体験では、災害時の備えや身の守り方、地震についての理解を深めてもらいました。(写真②)



写真①

飯館村消防団  
防火パレード出発式



起震車による地震体験  
(いいたて希望の里学園)

写真②

### ■住宅用火災警報器の設置PRを行いました

飯館村女性消防隊は、住宅火災における焼死者火災を防ぐために、10月27日に開催された「いいたて村文化祭」において、住宅用火災警報器のPRブースを出展し、住宅用火災警報器の設置と点検、住宅火災の予防を来場者に呼びかけました。(写真③)



写真③

飯館村女性消防隊  
住宅用火災警報器設置・点検PR  
(いいたて村文化祭)

### ■高齢者世帯合同防火訪問を行いました

消防飯館分署、飯館村女性消防隊、飯館村社会福祉協議会、東北電力ネットワーク福島電力センターと合同で、高齢者世帯訪問を行いました。訪問先では、住宅用火災警報器を設置して火災予防を訴えました。(写真④)



高齢者世帯合同防火訪問

写真④

### ■飯樋町行政区防災訓練を行いました

飯樋町行政区では11月10日に防災訓練を行いました。避難訓練や消火器取扱訓練、濃煙体験、防災講話を行い、防災力の向上を図りました。(写真⑤)



写真⑤

飯樋町行政区防災訓練

## 第7次総合振興計画 策定作業を進めています

### ■総合振興計画は「村づくりの羅針盤」

総合振興計画は、いわば「村づくりの羅針盤」となるものです。村の最上位計画として、「飯館村をどのような村にしていくのか」(=目指す姿)と、「そのために何をするのか」(=実現化の方針)を総合的・体系的にまとめ、計画書を策定します。

村の施策や事業は、総合振興計画の示す将来像や方針を元に、その実現を目指して組み立てられます。また、事業の一環である地域計画(現在の「地域みがかあげ計画」に準ずるもの)などにも反映されます。

総合振興計画は、行政運営の方針書であると共に、将来像や目標を村民と共有する大切な計画書です。対外的には村づくりの方針を表明する計画書ともなります。第7次総合振興計画(以下「7次総」)は、令和8年度からの運用に向けて策定します。計画策定のための組織を立ち上げ、令和6年秋からさまざまな検討が進められています。  
※7次総の構成、策定体制については、広報いいたて11月号P9をご覧ください。

### ■現況を整理し計画に沿って協議を進めます

村の現況を整理するために、初期の段階で、庁内各部署のヒアリングが行われました。現在運用されている第6次総合振興計画後期計画の実施状況についても、確認と整理を進めています。また、策定作業に係る組織を立ち上げ、有識者や村民に委員を委嘱。策定の方針や今後の進め方を含め、総合的な議論を深めています。

策定業務のスケジュールは、以下の表のようになっています。(現時点での見通しで、今後の話し合いや進捗状況により、追加や変更が生じます)

	令和6年度						令和7年度										
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
現況整理	■																
現計画・取り組みの把握	■																
基本構想案策定										■	■						
基本計画案策定										■	■						
計画書案の作成												■	■	■	■		
①専門部会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
②策定推進委員会			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
③策定委員会		●		●	●	●	●	●	●	●							
④振興計画審議会		●						●				●					
パブリックコメント・議会												■	■	■	■		

※村民アンケートの実施の他、住民懇談会などの機会に計画案を示し意見交換を行うことも検討しています。

### ■第2回合同専門部会を開催しました

11月21日に、交流センター「ふれ愛館」で第2回の合同専門部会を開催しました。この日は、総合振興計画の根幹となる「村の将来像」について、各委員が考えを出し合いました。また、それらを元に、多様な世代や立場の委員が部会単位で議論を深め、話し合いの結果を全体に共有しました。

専門部会では、村民の皆さんから意見をいただくアンケートの実施方法や内容についても検討を進めています。



村の将来像について検討を行っています。村と協定を結ぶ6つの大学の学生もオンラインで参加しました(右上写真)。